

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29年 11 月 20日 (19:30 ~ 20:40 )

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	13 人	0 人	0 人	13 人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none"> <li>●面接時に同行できないのであれば、面接記録の熟読、不明な点があれば確認する。</li> <li>●ご家族様と接することが少ない、できない場合はご本人と可能な限りコミュニケーションをとり、その中で得た情報を職員間で共有する。</li> <li>●積極的に聴く姿勢をもつ。</li> <li>●事前に情報シートに目を通しておく。</li> <li>●体験利用の記録をつける。</li> </ul>
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none"> <li>●事前に面接記録 (情報シート) が職員間の連絡ノートと一緒に閲覧できる環境が整備されているため、確実に目を通すことができた。</li> <li>●ご利用者と積極的に関わり関係づくりのために行動できている。</li> <li>●体験記録の専用書式を作成することで、記録をすることが出来るようになった。</li> </ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	1	9	3	0	13 人
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	1	11	1	0	13 人
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	2	11	0	0	13 人
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	0	12	1	0	13 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①事前の情報共有は記録や情報シートの活用が多いが、面接記録等をファイリングし情報共有できている。	
②追加や変更があった情報をファイリングした記録に追記できる環境を作り、必要とされている支援を提供できるよう図る。	
③④訪問時や支援の際に、ご本人やご家族から話を積極的に聴くことで関係づくりを図り、不安や思いを理解できるように努めている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
①面接を 1 人で実施しているため、情報に漏れが生じることがある。また、時間が取れず十分な聞き取りや把握ができていないことがある。	
②必要な支援とご要望等の判断が曖昧になってしまい、口にされたことをそのまま支援してしまう結果となることがある。	
③④積極的に会話するなど関わりを深める努力ができておらず、思いを十分に理解できないまま不用意な声掛けに繋がった。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
●利用開始後、1 週間以内に担当職員が情報収集し、次回のケア会議で共有する (情報収集には、センター方式またはライフサポートプランを使用する)	
●面接記録に新たな情報を加筆しており、職員が見やすい位置に保管し、確認した際には押印する。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29年 11 月 20日 (19:30 ~ 20:40 )

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	6 人	5 人	0 人	12 人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>●初期支援と同様、面接記録を熟読する。</li> <li>●ご本人との会話、コミュニケーションをとり、得られたものを共有する。</li> <li>●ご自分で発言ができない方については、職員から話しかける中で感じた事、知りえた事を記録したり、話し合いなどする。</li> </ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>●面接記録は各自で読むことが出来ている。</li> <li>●コミュニケーションをとり、関わりの中で得た情報や知り得たことなどを会議で共有できた。</li> <li>●ご本人の思いを引き出す努力をしている。</li> </ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	0	6	6	0	12 人
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	0	7	5	0	12 人
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	0	6	6	0	12 人
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	0	9	3	0	12 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>①②目標にあわせてモニタリングを毎月行っている。また、ケアプランは回覧し、周知できている。</p> <p>③臀部に創があったことでベッド上での生活時間が長かったご利用者の話を聞き、医療職との連携、ご本人の意欲向上をコミュニケーションの中で図り、車椅子で座って食事をとることができるようになった。</p> <p>④関わりの中で得た情報は他職員とも情報共有できている。</p>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>①③日々の関わりでご本人の目標に着目した観点での関わりができていないことが多く、全てのご利用者の目標の把握は忘れてたり、見直したできなかったりするため、難しい。</p> <p>②パソコンでの入力に時間が必要となり、記録に残せていないことがある。また、記録に残すことの重要性が認識が低い。</p> <p>④実践、振り返りをし、次の対応はどうするべきか他職員の意見に賛同し、柔軟な発想ができず受け身がちになってしまっている。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>●ケアプランのチェック表を作成し活用する (使用しているソフトでチェックできるようにする) ことで、目標の把握を行う。</li> </ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29年 11 月 20 日 (19:30 ~ 20:40 )

3. 日常生活の支援

メンバー

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1 人	11 人	1 人	0 人	13 人

前回の改善計画

- 各自でケース記録に目を通し、日々、時々の変化を知るようにする。
- 些細な事でも記録に残す。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ケース記録に目を通すようにしている。
- ご利用者の様子をこまかく記録に残せている。また、口頭でも伝えられるようにしている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0	3	8	2	13 人
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	2	10	1	0	13 人
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	0	9	4	0	13 人
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	2	10	1	0	13 人
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	1	10	2	0	13 人

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ①ご利用者の様子を些細な事でも記録に残すようにしている。
- ②～⑤基礎的な介護は会議以外でも記録等からも体調や気分の変化を観察し、口頭で職員間で検討し、その場に応じた対応が来ている。また、ご利用者の様子を些細な事でも記録に残すようにし、職員間の連絡ノートも活用することで、情報の共有が図れるようにしている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ①生活歴等を把握するセンター方式のようなアセスメントが十分にできておらず、ご本人と関わっているが、「以前の暮らし方について」深く知ることができていない。
- ②「わかっているだろう」と職員間で考えており、細かな共通認識を図ることができていない。
- ③ご利用者との関わりの時間が十分に取れておらず、声にならない声まで受け止めることができていない。
- ④⑤疾患や薬等の身体面に関する知識が少なく、他職員からの助言を得ることが出来ないと即時的に対応ができない。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

- 月 1 回のケア会議にて、利用者二～三人ずつ情報共有する時間をとる。「〇〇さんを知る」と題して、全員情報共有することで自宅での生活や「以前の暮らし方」について把握できるようにする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 11 月 20 日 (19:30 ~ 20:40 )

4. 地域での暮らしの支援

メンバー

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0	4	8	1	13 人

前回の改善計画

- 地域ケア会議へ出席できないのであれば、その内容を知るようにする。
- 訪問している職員からのご自宅の様子、ご本人のご様子を聞く。
- 担当制にして地域ケア会議に参加する。

前回の改善計画に対する取組み結果

- 地域ケア会議への参加ができていない。
- 訪問対応した職員から、ご家族やご本人の様子を聞き、それを他職員にも共有することができている。
- 地域ケア会議の担当制は実施できていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	0	7	6	0	13 人
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	1	8	4	0	13 人
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	6	7	0	13 人
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	1	6	2	3	12 人

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

①生活スタイルや地域との関係性について、訪問時などにご家族やご本人から情報を得られるようにしている。

②訪問の際、近隣の方とご本人が会話できるように橋渡しをする等を行っている。

③ご本人やご家族から状態や様子を伺うようにしており、また、訪問の際に自宅の様子を見て、一日の行動を把握している。

④スーパーの場所やかかりつけ医などの地域の資源、場所の把握をしている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

①ご本人の望む暮らし、今困っていることの把握が十分でないため、生活スタイルや人間関係を一部理解できても、それを継続した形での支援ができていない。

②その日のご利用者の対応のみになっており、ご本人と地域との関わりを含めて生活歴などに対する把握が十分でない。

③事業所内での会話だけでは、自宅でのご本人の過ごし方が十分把握できない。

④現在の状況からの向上を考えることができていないこともあり、地域資源への把握ができていない。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

- 24 時間の生活を 1 週間かけて情報収集する等でその人の今の生活を知ることにつなげる。(センター方式の「24 時間シート」または、ライフサポートプランを使用する) また、それを踏まえてケア会議で「〇〇さんを知る」時間にする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29年 11 月 20日 (19:30 ~ 20:40 )

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	11 人	1 人	0 人	13 人

前回の改善計画

- 1,2と同様、ご本人とのコミュニケーションをとり、得られたことを共有する。
- ご本人のご自宅など、施設利用時以外でのご様子について、それを理解している職員から情報収集する。職員間の連絡・報告の確実性を図る。

前回の改善計画に対する取組み結果

- 変化があった時の内容を記録に残し、情報共有できている。
- 自宅での様子については、ご家族から聞いたり、送迎や訪問に行った職員から聞いたり、引き継いで情報共有できている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	2	6	4	1	13 人
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	3	7	2	1	13 人
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	2	10	1	0	13 人
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	2	10	1	0	13 人

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ①「まごころ収集」の活用や地域への支援の呼びかけを運営推進会議で実施できており、配食弁当等を利用し、食事の確保ができており、地域の資源を使って支援している。
- ②ご本人やご家族から得られた情報を共有するように図れており、「通い」、「訪問」、「宿泊」が妥当
- ③変化があった時の内容を記録に残し、ケース記録や職員用の連絡ノートなどからご本人の様子や身体状況を知り、引き継ぎなどから情報共有できている。
- ④必要時に宿泊や訪問を柔軟に活用できている。(体調不良時や熱発時に泊りを利用したり、自宅で転倒された際に訪問したりしている)

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ①地域へのアプローチが不足していたり、地域資源の把握ができておらず、事業所で対応してしまおうと考えてしまっている。
- ②③④情報の重要性を事業所全体での理解がしっかりとできていないため、日々の関わりから得られた「変化」を他職員に伝える、記録に残すことができていない。職員が毎日の業務に追われ、記録を読み返す時間がないことで、一日、一週間の変化でなく、一か月、三か月などの長期の変化の共有ができていない。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

- 地域資源を把握する勉強会を開催する。各利用者に合った地域資源の地図を作成する。日常会話から、どのようなところを利用されているかをキャッチする。
- モニタリングをした結果をケア会議の場で報告し、長期の変化の共有していく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29年 11 月 20日 (19:30 ~ 20:40 )

6. 連携・協働

メンバー

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	7人	4人	2人	13人

前回の改善計画	●地域の行事開催の情報を知る。それに照らし合わせた参加計画を早めに立てる。
前回の改善計画に対する取組み結果	●地域の行事情報を得ており、年間行事計画で事前に計画立案もできたこともあり、積極的な参加は行っている。(葵祭、柊野祭)

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか?	2	5	3	3	13人
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	1	4	3	5	13人
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?	1	7	3	2	13人
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	1	2	4	6	13人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①他事業所の担当者が来所した際には、自分が持っているご利用者に関する情報を伝えている。 ②圏域ネットワーク会議に参加できている。 ③地域行事への積極的な参加は行っている。(葵祭、柊野祭) ④地域に対して研修を開催している。(救命講習)	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
①担当者会議などの情報が少なく、 ②事前に勤務体制を配慮できていないこともあり、北区の連絡会には参加できていない。地域密着型サービス連絡協議会にも参加できていない。 ③自ら積極的に参加したいと声を上げていない。地域の小規模で開催されている行事・イベントに参加できていないことがある。 ④施設のため、入りにくい雰囲気があり、地域へのアプローチも不足し、育園児や小中学生にも来訪してもらえるような行事やイベントがないこともあり、気軽に事業所内に来てもらうことができていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
●地域密着型サービス事業所協議会の連絡会に年間の担当者決めて参加する。担当者をきめることで、顔なじみができて、色々情報が得られる。 ●小中学校、幼稚園、保育園に来訪の声かけをする担当を作る。年間計画に組み込んでいく。またこちらからも行事等に参加する。行事開催時にチラシや回覧版にのせ、事業所を知ってもらうように働きかける。 ●地域ボランティア担当職員を決め、積極的に働きかけを行えるようにする。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29年 11 月 20日 (19:30 ~ 20:40 )

7. 運営

メンバー

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	7 人	4 人	2 人	13 人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none"> <li>●前回の改善計画と同じく地域の方々との連携、接する機会を作る。</li> <li>●ガーデンハウス上賀茂を知っていただく努力をする。(今まで以上に) 知っていただくには、どうすべきかを考えていく。</li> </ul> <p>◎地域の防災活動等でコミュニティーホールを活用していく。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域住民や施設と関わる機会がないこともあり、地域の人との接する機会が少ない。</li> <li>●普段の業務や支援の中で考えるべきことではあるが、業務をスムーズに回せることに意識がいきっており、「事業所を知ってもらうためにはどうすべき」について普段、考えられていない。</li> </ul> <p>◎地域の方々と救命講習を開催することができた。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているか?	0	6	6	1	13 人
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	4	9	0	0	13 人
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	3	8	2	0	13 人
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	1	4	7	1	13 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>①事業所のあり方について、職員会議で意見を出し合っている。</li> <li>②③ご利用者やご家族、地域の方からの意見や苦情があった際は、直ぐに職員間での情報共有を図り、また、会議等で職員に伝え、検討し、支援や運営に反映できている。</li> <li>④地域の方々との救命講習を開催することができた。</li> </ul>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>①普段の業務や支援の中で考えるべきことではあるが、業務をスムーズに回せることに意識がいきっており、「事業所を知ってもらうためにはどうすべき」について普段、考えられていない。</li> <li>②③日々の業務にとらわれてしまっている。また、誰かがするだろうとの思いがあることで、地域からの意見を組み込むことができていない。</li> <li>④自主防災会との話し合いができておらず、災害時の対応が明確に示されていないこともあり、災害時の地域の拠点としての役割が明確になっていない。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>●町内活動等で、ホールを活用して頂く。回覧板やチラシを作り情報を提供する。ボランティアの募集広告もつくる。</li> </ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29年 11 月 20日 (19:30 ~ 20:40 )

8. 質を向上するための取組み

メンバー

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	6 人	6 人	0 人	13 人

前回の改善計画	
●さまざまな研修がある中で比較的参加しやすいようなものがあれば、情報提供してみる。また、参加した職員が内容を知らせる	
●事業所内研修開催時間を考慮する (特に参加できなかった職員へのフォロー)	
前回の改善計画に対する取組み結果	
●外部研修の情報提供ができています。	
●事業所内研修開催時間を考慮できていない。	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	5	6	2	0	13 人
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	2	4	5	2	13 人
③	地域連絡会に参加していますか	0	1	2	10	13 人
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	6	6	1	0	13 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①職場内研修・同事業種の合同研修は毎月実施している。	
②資格習得している。	
③特定の職員が参加している。	
④事故やヒヤリハットの検討を毎月行っており、ヒヤリハットを常に意識しながら業務を行っている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
①②自ら参加してみたい研修を探せておらず、外部研修参加の計画が立てられていないこともあり、職場外研修に参加できていない。また、事業所内研修も参加できておらず、業務がシフト制のため、同じ内容の研修を 2, 3 回実施し、出席できるようにする。	
③業務専従のため機会がなく、参加する機会が少ない。	
④リスクマネジメントがなにかも分からず、理解も不足している状態でヒヤリハット等を作成しており、何とか対応できているので、特に問題ないだろうと思うなど、リスクの意識が低い。十分なリスクマネジメントに取り組むことができていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
●地域の連絡会を当番にして、参加する。	



事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29年 11 月 20 日 (19:30 ~ 20:40 )

9. 人権・プライバシー

メンバー

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0	12	1	0	13 人

前回の改善計画

- 引き継ぎの際、ご利用者各々に合った希望に沿った情報の提供
- 個人情報保護の根本的基本的な理解と実行
- 利用者目線が不足しているため、もっと徹底していけるようにする。

前回の改善計画に対する取組み結果

- 関わりや情報などからご利用者の立場で考えるケアや思いの検討ができています。
- 個人情報は書庫やパソコンで管理できている。
- 支援をする際は職員の都合やペースにならないよう、利用者目線に立ち、支援するように心掛けている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	10	3	0	0	13 人
②	虐待は行われていない	11	2	0	0	13 人
③	プライバシーが守られている	4	8	1	0	13 人
④	必要な方に成年後見制度を活用している	0	6	3	4	13 人
⑤	適正な個人情報の管理ができています	3	8	2	0	13 人

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ①②身体拘束・虐待防止の研修を毎年行い、身体拘束や虐待は行われていない。
- ③排泄時のプライバシーも確保できている。
- ④現時点では、成年後見制度を利用される利用者はいない。
- ⑤個人情報は書庫やパソコンで管理できている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ①行方不明事故防止のため玄関を施錠している。
- ②業務に追われ職員本位になる場面があり、利用者目線が不足している。
- ③施設内の職員同士の会話などで大きめの声で会話し、他のご利用者に内容が聞こえ、プライバシー保護ができていない。
- ④成年後見制度はご本人の同意を得られず、納得してもらえなかった。
- ⑤意識低下に伴い業務中に徹底できず、業務日誌、バイタル表や排泄表を表向きに置き、他のご利用者の目に入ることもある。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

- 成年後見制度について理解を深めるため、事業所内研修を行い、活用できるようにする。

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 柗野福祉会	代表者	東山和幸	法人・ 事業所 の特徴	・社会福祉法人柗野福祉会は、京都市内で高齢者福祉施設やサービスを多分野（11分野 23 事業所）にわたって運営している法人です。33年の歴史があり、地域のニーズに応えるべく、特に地域密着型サービスに重点をおいた事業展開を行っています。小規模多機能型居宅介護も京都市内で最も早く運営を開始した実績があり、現在では4事業所を運営しています。ガーデンハウス上賀茂は、平成27年3月に開設した事業所で、法人の本拠地である柗野圏域であり、地域とのつながりや連携が容易にできることが特徴となっています。
事業所名	ガーデンハウス上賀茂	管理者	鳴瀧知恵		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	1人	2人	1人	1人	1人	人	2人	人	8人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<p>①職員会議・ケア会議、毎月の研修には、全職員が参加しやすい日時を設定し、欠席者には確実に伝達していける体制をとる。</p> <p>②事故やヒヤリの分析を詳細に行い、ミーティングで共有する。重大事故については、繰り返し分析を行う。</p> <p>③利用初期の情報共有として、体験利用時の記録を詳細につける。利用開始後には、面接記録に各ケース担当が必要な追加情報を記録し、共有する。</p> <p>④目標に基づいた個別のケアの方法については、毎日のケース記録に目標とサービス内容を記入し、実践できているかチェックする。</p>	<p>①会議の開催が業務の都合上 20時以降となるが、パート職員や公休職員も参加している。欠席者は連絡ノートや会議録で伝達している。</p> <p>②毎月、ヒヤリ・事故の話し合いを行い分析や具体策を検討しているが、統計的な角度からの分析はできていない。</p> <p>③面接記録に赤字で追加情報を記入し、情報共有をすることができた。但し、その記録を毎回確認していないこともあるため、確実に確認する方法を要検討。</p> <p>④実施できていない。</p>	<p>・提示された計画が具体的なものではなかったため、特に地域に関することであれば来年度の年間計画に沿わせて、地域包括支援センターにも相談して欲しい。</p>	<p>①月1回のケア会議にて、利用者二～三人ずつ情報共有する時間をとる。「〇〇さんを知る」と題して、全員情報共有することで自宅での生活や「以前の暮らし方」について把握できるようにする。</p> <p>②利用者様の24時間の生活を1週間かけて情報収集する等でその人の今の生活を知ることにつながる。（センター方式の「24時間シート」または、ライフサポートプランを使用する）また、それを踏まえてケア会議で「〇〇さんを知る」時間にする。</p> <p>③地域密着型サービス事業所協議会の連絡会に年間の担当者決めて参加する。担当者をきめることで、顔なじみができて、色々情報が得られる。</p> <p>④地域の連絡会を当番にして、参加する。</p> <p>⑤成年後見制度について理解を深めるため、事業所内研修を行</p>

				い、活用できるようにする。
B. 事業所の しつらえ・環境	<p>①利用者様の状況に合わせた席の配置や空間づくりを行っていく。引き続き、ロビーや和室の活用でくつろげるようにする。</p> <p>②日中はできる限り、玄関を解放し、ご家族や地域の方が入りやすいように工夫する。</p>	<p>①テーブル席の配置はご利用者様の状況に合わせて適切に変更することができている。テーブル席を離れて憩える場所づくりが、できていない。和室の活用も十分にできていない。</p> <p>②ご利用者様の状況に合わせ、玄関は施錠されている。来客者があればすぐに分かるようにして、開錠はしている。</p>	<p>安全確保のために日中の施錠を実施しているが、良くないことでもあり、施錠しなくても良いように検討していく必要があるのではないかと。第三者の意見として地域包括支援センターの職員も交えて検討するのも良いのではないかと。</p> <p>・建物の中に入って、施設も一杯あるから、地域行事に来てもらっても、どこの人とかわからない。</p>	<p>①利用者様同士が交流しやすい席の配置を行う。また、ソファや和室を活用し、寛げる場所づくりを行う。</p> <p>③地域ボランティア担当職員を決め、積極的に働きかけを行えるようにする。</p> <p>④町内活動等で、ホールを活用して頂く。回覧板やチラシを作り情報を提供する。ボランティアの募集広告もつくる。</p>
C. 事業所と地域のかかわり	<p>①地域の方が事業所に訪れられるよう、見学を呼びかけたり、イベントに参加して頂く等取り組んでいく。</p> <p>②担当制にして地域ケア会議に参加する。地域ケア会議へ出席できない場合は参加者からその内容を知るようにする。</p> <p>③チャレンジ体験への参画を実現し、地域の拠点となれるよう活動を積み重ねる。</p>	<p>①見学は随時受け付けている。健康福祉フェアにて、地域の方々にステンスル教室参加して頂いた。</p> <p>②担当制にはできたが、午前中開催の会議には参加調整が難しく、参加できないことが多かった。</p> <p>③チャレンジ体験の登録を行い、西賀茂中学校にも打診をしたが、希望者少なく、来年度以降に検討して頂くこととなる。</p>	<p>事業所が知られていないためか直接、何か困りごとや相談ごとに対して相談されることは少ない。</p> <p>・福祉フェアでステンスルをどこでしてるとか、分かってない。</p>	<p>①行事開催時にチラシ等回覧版にのせ、事業所を知ってもらうように働きかける。</p> <p>②小中学校、幼稚園、保育園に来訪の声かけをする担当を作る。年間計画に組み込んでいく。またこちらからも行事等に参加する。</p>
D. 地域に出向いて 本人の暮らしを支える取組み	<p>①地域での生活状況の把握は各ケース担当が、問題意識を持って、ご家族や近隣の方から収集するよう努める。</p> <p>②ご利用者の暮らしに必要な民生委員や地域資源を社会福祉協議会や地域包括支援センターと連携を図り、活用していけるようにする。</p> <p>③会議や地域活動に出られる時</p>	<p>①ケース担当職員によって、できていたり、できていなかったりする。ご家族がおられない場合、近隣の方や地域の役員さんに挨拶し、状況把握をした方もあった。</p> <p>②行方不明のある可能性のある方の見守りネットワークを活用したり、社会福祉協議会や地域包括支援センターにご相談することもあった。</p>	<p>・年に数回実施されている行事ではなく、ドライブや散歩時に付き添いの際に地域の人と関わることも地域での交流になるのではないかと。</p> <p>これまで通われていたスーパー、美容院、理髪店に行ったり、喫茶店と一緒にいき地域の人と挨拶したりすることも交流となるのではないかと。</p>	<p>①終野学区のお祭りや交流会等を年間計画に組み入れ、利用者様と参加する。</p> <p>②地域資源（お店等も含む）を把握する勉強会を開催する。各利用者者に合った地域資源の地図を作成する。日常会話から、どのようなところを利用されているかをキャッチする。</p>

	間を作っていく。また、地域の行事開催の情報を知る。それに照らし合わせた参加計画を早めに立てる。	③年間の行事計画に地域行事を入れ、プログラムや人員配置を事前に検討でき、参加することができた。		
E. 運営推進会議を活かした取り組み	①運営推進会議で、事業所の取組（研修計画、防災計画等含む）や報告を詳細に行い、評価を頂く。 ②評価やご意見をミーティングで話し合い、確実に改善つなげていく。 ③心配な方のご相談や協力依頼を行っていく。	①研修計画はご報告しているが、実施状況についてはご報告できていない。年度末に実施予定とする。 ②見守りネットワークへの登録や地域での情報共有についてご意見を頂いて、一部実践することができている。 ③行事への参加や行方不明事故の備えなどについて、ご相談し、ご意見を頂くことができた。	・事業所が奥まったところであり、事業所の取り組みを直接目にする機会は少ないため、行事報告を写真を交えて実施してもらえると、実感として分かりやすい。	①運営推進会議で、事業所の取組（研修計画、防災計画等含む）や報告を詳細に行い、評価を頂く。 ②評価やご意見をミーティングで話し合い、確実に改善つなげていく。 ③心配な方のご相談や協力依頼を行っていく。
F. 事業所の防災・災害対策	①地域の防災活動等（救急救命講習）でコミュニティーホールを活用していくことで、事業所の近くにきていただける機会を作っていく。 ②柘野学区の防災訓練の参加や自主防災との連携の計画を法人全体で取り組んでいく。	①災害時、地域との協力、連携が明確化できていない。救命講習は9/21に開催し、ご家族や地域の方に参加して頂いた。 ②防災訓練の11/19に参加した。法人として自主防災会と連携している。	・柘野学区の自主防災との連携が必要になるのではないかと。 ・自宅におられる時の安否確認の方法を検討する必要がある。 ・自主防災会は施設を頼りにしている。	①柘野学区の防災訓練に利用者様と参加する。 ②自主防災との連携の計画を法人全体で取り組んでいく。 ③災害時、自宅におられる時の対策をたてる。

